

# 生涯現役社会の実現に向けた 雇用・社会保障の一体改革

平成30年10月5日

経済産業大臣

世耕弘成

# 生涯現役社会に向けた政策提案

- 生涯現役社会の実現に向けて、産業構造審議会に2050経済社会構造部会を設置し、9月21日から議論を開始。経団連、日商、連合、日本医師会、企業経営者、自治体首長、エコノミスト、学識経験者など20名の有識者が参画。
- 初回の議論を踏まえた、当座の政策提案は以下のとおり。

## 生涯現役時代に対応した社会保障制度改革

### 1. 生涯現役に対応した年金改革

- 年金受給開始年齢の柔軟化
- 繰下げの選択による年金充実メリットの見える化 (ナッジ)

### 2. 予防・健康づくり支援

- がん検診等の通知に個々人の健康リスクを見える化し、健診受診率を向上 (ナッジ)
- 健康スコアリングレポートにより従業員の健康状態を見える化し、経営者の予防・健康づくりを促進(ナッジ)
- 投資家による健康経営へのシグナル (健康経営銘柄への投資を促進)
- 保険者による生活習慣病や認知症予防のインセンティブ強化
- 保険者によるヘルスケアポイント導入を促進し、ウェアラブル端末等を活用した個人の予防・健康づくりを支援

## 生涯現役時代に対応した雇用制度改革

### 1. 高齢者雇用の促進

- 65歳以上への継続雇用年齢の引上げに向けた検討
- 高齢者未採用企業への雇用拡大策
- A I・ロボット等も用いた職場環境整備
- 介護助手制度の利用拡大

### 2. 中途採用の拡大

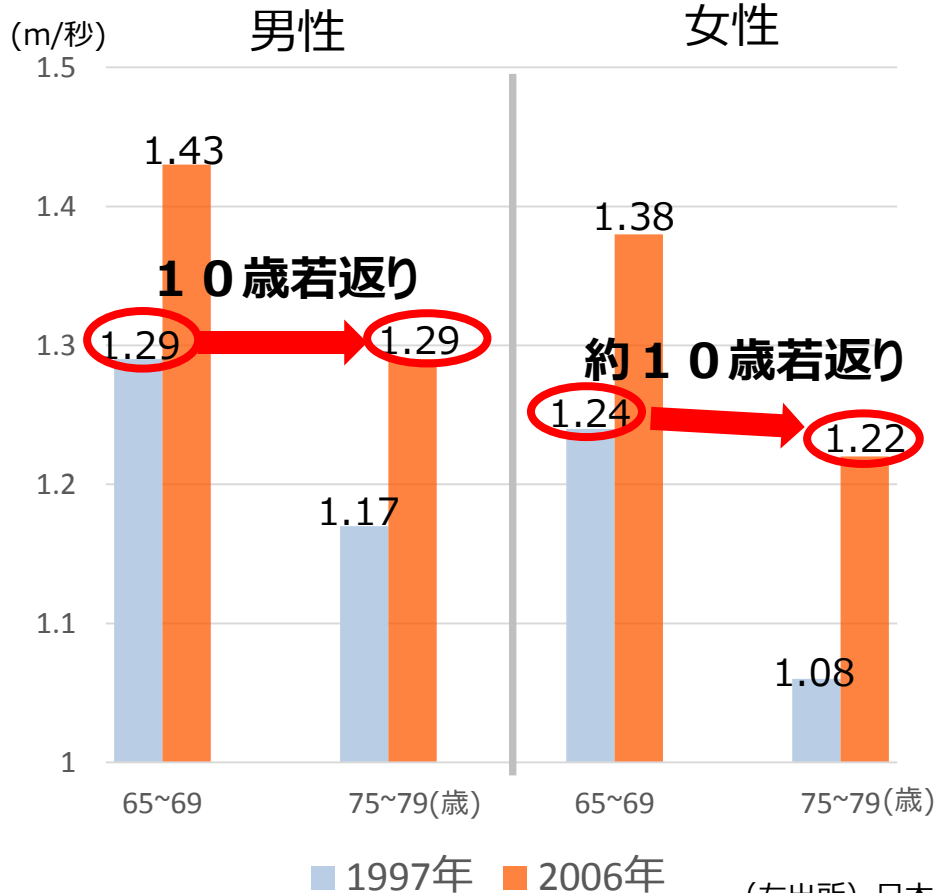
- 中途採用協議会による総理ヘッドの運動展開
- 職務の明確化とそれに基づく公正な評価・報酬制度の導入拡大
- 40歳でのセカンドキャリア構築支援
- 大企業人材の地方中小企業での活用

# 高齢者は元気になっている

- 高齢者の歩行速度は、2006年までの10年で約10歳若返ったとのデータがある。
- 70歳以降まで働くことを希望している高齢者は8割にのぼる。

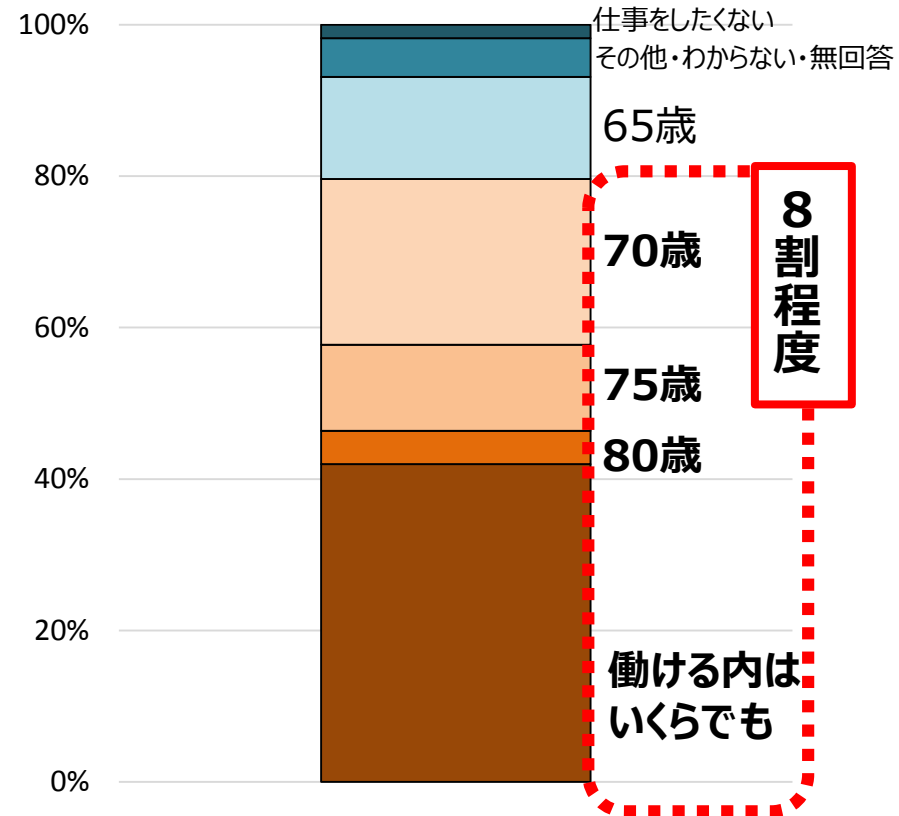
## 高齢者の通常歩行速度の変化

高齢者の通常歩行速度は10年間で約10歳若返っている



## 何歳くらいまで働きたいか

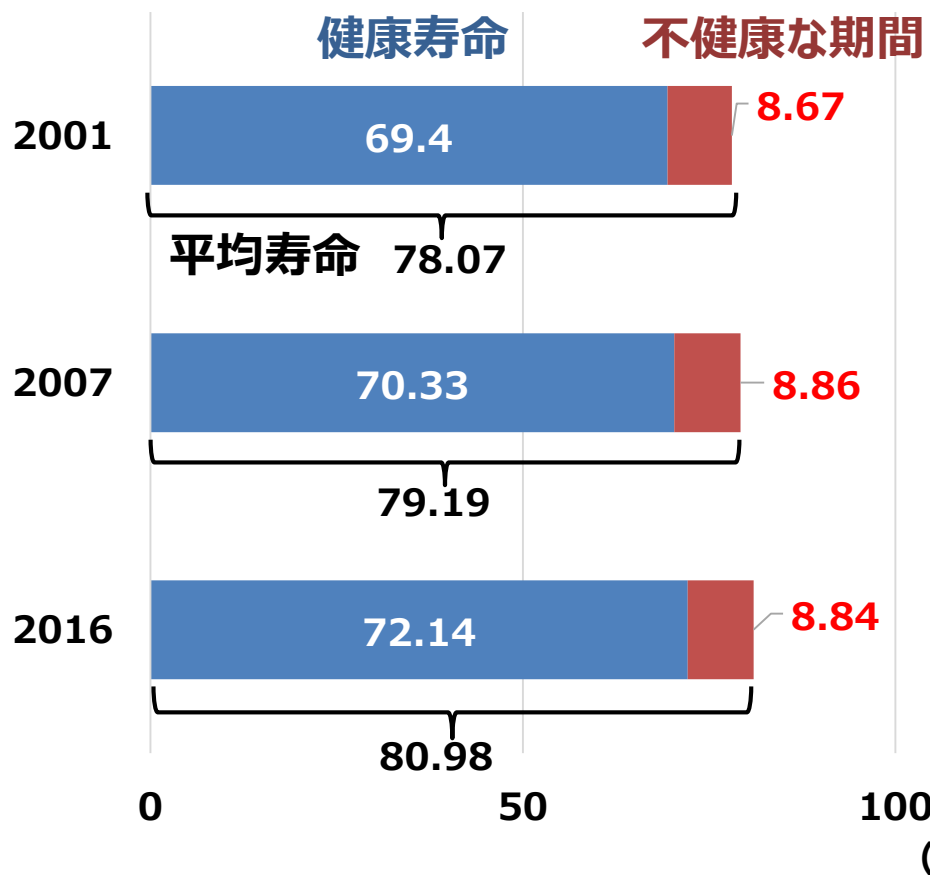
(現在就労している60歳以上の方に質問)



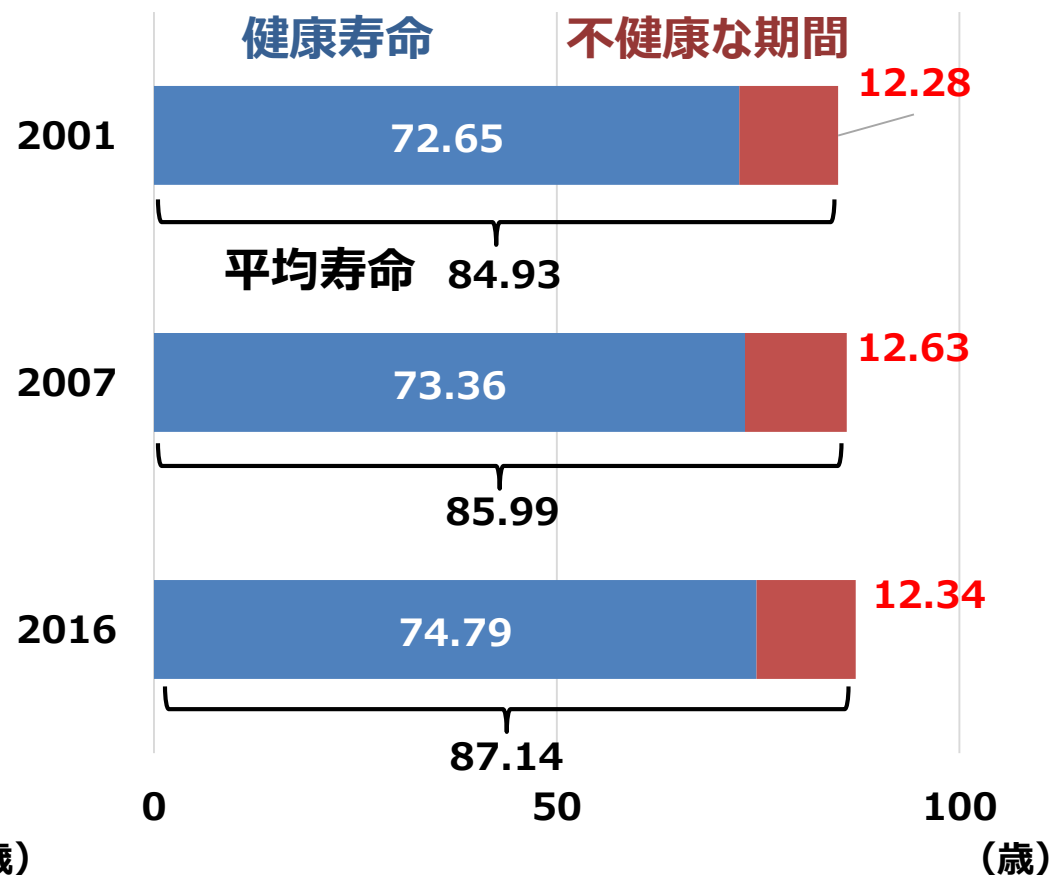
# 健康寿命の延伸が重要

- 「不健康な期間」は横ばい。健康寿命の延伸に向けて、予防・健康づくりが重要。

## 男性



## 女性



# 産業構造審議会2050経済社会構造部会 委員名簿

相原 康伸	日本労働組合総連合会 事務局長
青野 慶久	サイボウズ株式会社 代表取締役社長
石田 隆英	イシダ 代表取締役社長
大石 佳能子	メディヴァ 代表取締役社長
小玉 弘之	公益社団法人日本医師会 常任理事
阪口 伸六	大阪府高石市長
鈴木 英敬	三重県知事
鈴木 伸弥	明治安田生命保険相互会社 取締役会長代表執行役
鈴木 亘	学習院大学経済学部 教授
武田 洋子	株式会社三菱総合研究所政策・経済研究センター長 チーフエコノミスト (部会長代理)
土居 丈朗	慶應義塾大学経済学部 教授
轟 麻衣子	ポピンズ 代表取締役社長
中畑 英信	株式会社日立製作所 代表執行役 執行役専務
中原 修二郎	有限会社ケア・プランニング 代表取締役社長
新浪 剛史	サントリーホールディングス株式会社代表取締役社長
浜田 敬子	ビジネスインサイダージャパン 統括編集長
武藤 真祐	医療法人社団鉄祐会 理事長
安田 洋祐	大阪大学大学院経済学研究科 准教授
柳川 範之	東京大学大学院経済学研究科 教授 (部会長)
山本 雄士	ミナケア 代表取締役